年間授業計画　様式(新カリ対応)

高等学校　令和8年度　教科　地理歴史科　科目　総合世界史

教　科：　地理歴史科　　科　目：　総合世界史　　単位数：　2　単位

対象学年組：第　3 学年　A　組～　E　組

教科担当者：

使用教科書：（ 山川出版社　世界史探究 高校世界史　　）

教科　地理歴史科　　の目標：

【 知　識　及　び　技　能 】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解する。

【思考力、判断力、表現力等】地理や歴史に関わる事象の意味や意義，関連を概念などを活用して多面的・多角的に考察する。

【学びに向かう力、人間性等】地理や歴史に関わる諸事象に関する課題を主体的に解決しようとしている。

科目　総合世界史　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的にまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史的に見られる課題を	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当時数
1学期	第１編　第１～２章 【知識及び技能】 　第２次産業革命とその影響、列強各国の状況、国際的社会主義運動の展開を多面的・多角的に考察し、帝国主義時代の世界を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 　第２次産業革命とその影響、列強の帝国主義政策と国内問題、国際的社会主義運動の展開など、帝国主義時代の世界を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 　第2次産業革命が欧米社会におよぼした影響、列強の植民地獲得競争と国内の諸問題について、多角的・多面的に考察し、表現している。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	定期考査 プリント提出 論述課題 ペアワーク・グループワークへの取り組み	○	○	○	12
	定期考査			○	○	○	1
	第１編　第３～５章 【知識及び技能】 　アフリカや太平洋地域の植民地化とラテンアメリカ諸国の従属化、列強の対立状況を多面的・多角的に考察し、列強の世界再分割を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 　アフリカや太平洋地域の植民地化の状況と、植民地獲得を進める列強間の対立を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 　アフリカ、太平洋地域の植民地化、ラテンアメリカの従属化と帝国主義列強の二極分化について、多角的・多面的に考察し、表現している。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	定期考査 プリント提出 論述課題 ペアワーク・グループワークへの取り組み	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
2学期	第２編　第１部　第１～２章 【知識及び技能】 　列強の進出に抵抗するアジア諸国の民族運動、立憲運動の展開を多面的・多角的に考察し、アジア諸国の変革を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 　アジア諸地域で展開した列強の進出に抵抗する民族運動と、専制政治に反対する立憲運動の展開を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 　東アジア・南アジア・東南アジア・西アジア諸地域の民族運動と、列強への抵抗運動について、多角的・多面的に考察し、表現している。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	定期考査 プリント提出 論述課題 ペアワーク・グループワークへの取り組み	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
	第２編　第２部　第１～２章 【知識及び技能】 　第一次世界大戦とロシア革命の展開を多面的・多角的に考察し、19世紀末から20世紀初めの国際関係と社会主義国の成立を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 　第一次世界大戦が起こった背景とその結果、ロシアで社会主義政権が成立した過程とその影響を理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 　19世紀末から20世紀初めの国際関係と、それを背景としておこった第一次世界大戦とロシア革命を多角的・多面的に考察し、表現している。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	定期考査 プリント提出 論述課題 ペアワーク・グループワークへの取り組み	○	○	○	13
	定期考査			○	○	○	1
3学期	第２編　第３部　第１～２章 第３編 【知識及び技能】 　ヴェルサイユ体制とワシントン体制が形成した国際秩序、ヨーロッパ各国、ソ連、アメリカ合衆国の動きを多面的・多角的に考察し、第一次世界大戦後の欧米諸国を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 　第一次世界大戦後の国際秩序の形成と、ヨーロッパ各国の置かれた状況と課題への取り組みを理解している。 【学びに向かう力、人間性等】 　戦後の国際秩序の形成、西欧・東欧諸国、ソ連、アメリカが向かい合った課題について、多角的・多面的に考察し、表現している。	・指導事項 ・教材 ・一人１台端末の活用　等	定期考査 プリント提出 論述課題 ペアワーク・グループワークへの取り組み	○	○	○	15
	定期考査			○	○	○	1
							合計
							71